



2021年6月10日

各 位

会社名 東京インキ株式会社
代表者名 代表取締役社長 堀川 聡
(コード番号 4635 東証第2部)
問合せ先 管理部門理財部長 中村 真次
(TEL. 03-5902-7652)

(訂正) 「2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2019年8月7日に開示いたしました「2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2021年6月10日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日

上場会社名 東京インキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4635 URL <http://www.tokvoink.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 淳男
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門理財部長 (氏名) 中村 真次 TEL 03-5902-7652
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,450	△6.5	96	△60.6	194	△44.9	111	△54.7
2019年3月期第1四半期	11,179	2.7	244	△46.9	352	△41.4	245	△38.5
(注) 包括利益	2020年3月期第1四半期		123百万円 (-%)		2019年3月期第1四半期		△114百万円 (-%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	41.27	—
2019年3月期第1四半期	91.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
2020年3月期第1四半期	46,358	24,196	51.9	8,899.95	
2019年3月期	46,656	24,125	51.4	8,875.68	
(参考) 自己資本	2020年3月期第1四半期		24,048百万円	2019年3月期	23,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	22,800	3.7	430	△6.6	500	△17.0	355	△10.5	131.37
通期	47,000	5.3	1,250	0.9	1,400	△2.6	1,000	△2.7	370.06

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	2,725,758株	2019年3月期	2,725,758株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	23,667株	2019年3月期	23,592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	2,702,115株	2019年3月期1Q	2,702,310株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)におけるわが国の経済は、雇用環境の改善や堅調な設備投資が継続し、緩やかな回復基調が継続しておりましたが、米中通商問題の動向や海外経済の減速等、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、既存の事業領域における競争力強化と顧客満足の向上および周辺事業領域への拡大に引き続き努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が104億5千万円で前年同四半期比7億2千9百万円の減収(6.5%減)となり、営業利益は、原材料価格の上昇およびシステム変更に伴う一時費用の増加等により、9千6百万円で前年同四半期比1億4千7百万円の減益(60.6%減)、経常利益は1億9千4百万円で前年同四半期比1億5千8百万円の減益(44.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億1千1百万円で前年同四半期比1億3千4百万円の減益(54.7%減)となりました。

次に、セグメント別に概況をご報告いたします。

(インキ事業)

オフセットインキは、市場縮小化が継続する中で販売数量の確保に努めましたが、数量および売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

グラビアインキは、環境対応製品を戦略製品として上市し、新たな需要の開拓を継続しておりますが、既存製品は天候不順の影響等により低調に推移し、数量および売上高は前年同四半期並みとなりました。

インクジェットインキは、受託インクが中国の環境対応による原材料供給不足と委託先の内製化により伸び悩みました。産業用機能性インキは、堅調に推移し、今後もさらなる伸長を期待しております。

印刷用材料および印刷機械は、オフセットインキと同様に厳しい環境の中で売上維持に努めましたが、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

この結果、インキ事業の売上高は、32億8千4百万円で前年同四半期比4億9千9百万円の減収(13.2%減)、セグメント利益は3千4百万円で前年同四半期比1千5百万円の減益(31.4%減)となりました。

(化成品事業)

マスターバッチは、日用品・化粧品容器関連が好調に推移し、また、下期の消費税率変更の影響により、自動車関連は大幅に計画を上回りました。しかし、一般包装資材関連が大型連休による稼働日の減少や、後半の天候不順等により、数量および売上高は計画を下回りました。

樹脂コンパウンドは、自動車関連が好調であったため計画通りに推移しましたが、機能性樹脂コンパウンドについては、中国経済減速の影響を受け、売上高および数量は前年同四半期に比べ減少いたしました。

この結果、化成品事業の売上高は、53億4千8百万円で前年同四半期比1億4千3百万円の減収(2.6%減)、セグメント利益は4億3千9百万円で前年同四半期比6千万円の減益(12.1%減)となりました。

(加工品事業)

ネトロン工材は、水処理用資材の輸出需要低迷およびオリンピック用資材の販売終了に伴い、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

ネトロン包材は、事業拡大および生産能力の向上により、売上高は前年同四半期に比べ大幅に増加いたしました。

一軸延伸フィルムは、コイン包装用途が好調に推移したものの、食品包装用途等が減少したため、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

土木資材は、一昨年上市したグランドセルおよび周辺部材が好調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

農業用資材は、施設園芸用被覆材が低迷し、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

この結果、加工品事業の売上高は、17億4千2百万円で前年同四半期比8千6百万円の減収(4.7%減)、セグメント利益は8千万円で前年同四半期比6百万円の減益(7.0%減)となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業の売上高は、7千4百万円で前年同四半期比0百万円の減収(1.0%減)、セグメント利益は3千9百万円で前年同四半期比2百万円の減益(5.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は463億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億9千7百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加3億7千7百万円、受取手形及び売掛金の減少10億9百万円、たな卸資産の増加2億1千6百万円、有形固定資産の増加1億7千8百万円及び投資有価証券の減少5千2百万円等によるものです。

(負債)

負債合計は221億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億6千8百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少10億6千6百万円、短期借入金の増加11億円、未払法人税等の減少1億3千7百万円、賞与引当金の減少3億1千万円及び長期借入金の減少3億1千8百万円等によるものです。

(純資産)

純資産の部は241億9千6百万円となり前連結会計年度末に比べ7千万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加5千9百万円及びその他の包括利益累計額の増加5百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想に関しましては、現時点において当社グループを取り巻く事業環境等が厳しい状況で推移しており、連結業績に与える影響が大きいと認識しておりますが、現時点で当期の業績予想を合理的に見直すことが困難であるため、連結業績予想を変更しておりません。今後、業績見通しを合理的に算定することが可能となった時点で速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,870	2,247
受取手形及び売掛金	16,846	15,836
商品及び製品	4,357	4,462
仕掛品	1,710	1,790
原材料及び貯蔵品	2,051	2,082
その他	264	276
貸倒引当金	△23	△23
流動資産合計	27,077	26,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,035	6,036
機械装置及び運搬具(純額)	2,183	2,187
工具、器具及び備品(純額)	361	391
土地	3,602	3,604
リース資産(純額)	322	310
建設仮勘定	296	451
有形固定資産合計	12,802	12,981
無形固定資産		
リース資産	3	2
その他	625	645
無形固定資産合計	628	648
投資その他の資産		
投資有価証券	4,799	4,746
繰延税金資産	28	24
その他	1,379	1,350
貸倒引当金	△60	△65
投資その他の資産合計	6,147	6,056
固定資産合計	19,578	19,685
資産合計	46,656	46,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,554	10,488
短期借入金	2,050	3,150
1年内返済予定の長期借入金	1,457	1,414
リース債務	142	136
未払法人税等	168	30
賞与引当金	453	143
未払消費税等	93	116
未払費用	900	982
その他	485	799
流動負債合計	17,305	17,262
固定負債		
長期借入金	3,476	3,157
リース債務	211	204
繰延税金負債	588	635
役員退職慰労引当金	228	228
退職給付に係る負債	533	490
その他	186	183
固定負債合計	5,224	4,899
負債合計	22,530	22,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,246	3,246
資本剰余金	2,526	2,526
利益剰余金	17,797	17,856
自己株式	△59	△59
株主資本合計	23,510	23,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	746	712
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	△11	9
退職給付に係る調整累計額	△261	△241
その他の包括利益累計額合計	473	478
非支配株主持分	142	148
純資産合計	24,125	24,196
負債純資産合計	46,656	46,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	11,179	10,450
売上原価	9,437	8,795
売上総利益	1,742	1,654
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	403	423
賞与	102	94
福利厚生費	98	97
減価償却費	48	59
賞与引当金繰入額	52	48
退職給付費用	28	32
通信交通費	79	69
荷造及び発送費	280	293
その他	404	439
販売費及び一般管理費合計	1,497	1,558
営業利益	244	96
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	84	78
出資分配益	35	29
その他	7	10
営業外収益合計	129	119
営業外費用		
支払利息	8	8
為替差損	9	3
その他	3	9
営業外費用合計	20	21
経常利益	352	194
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除売却損	8	13
減損損失	4	—
特別損失合計	12	13
税金等調整前四半期純利益	340	182
法人税、住民税及び事業税	3	8
法人税等調整額	96	56
法人税等合計	99	65
四半期純利益	240	116
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	245	111

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	240	116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△274	△34
繰延ヘッジ損益	5	△1
為替換算調整勘定	△97	21
退職給付に係る調整額	10	20
その他の包括利益合計	△355	6
四半期包括利益	△114	123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△109	117
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、子会社である東京油墨貿易(上海)有限公司は、合計の総資産、売上高、当期純利益及び利益剰余金等の連結財務諸表に及ぼす影響の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ事業	化成品事業	加工品事業	不動産賃貸事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	3,783	5,491	1,828	75	11,179	11,179
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	21	—	—	21	21
計	3,783	5,513	1,828	75	11,201	11,201
セグメント利益	50	499	86	41	678	678

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差額調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	678
全社費用(注)	△434
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	244

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ 事業	化成品 事業	加工品 事業	不動産賃貸 事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	3,284	5,348	1,742	74	10,450	10,450
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	13	—	—	13	13
計	3,284	5,361	1,742	74	10,463	10,463
セグメント利益	34	439	80	39	593	593

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差額調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	593
全社費用（注）	△496
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	96

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。